

ていげんこうそう きにゆうようしき
提言構想メモの記入様式

| | |
|------------|---|
| なまえ 名前 | り はこぶね 李 方舟 |
| タイトル | がいこくじんしんりごじょかい 外国人心理互助会について |
| ないよう 内容 | がいこくじん かたがた い じ しえん がいこくじんしんりごじょかい せつりつ 外国人の方々のメンタルヘルス維持を支援するため、外国人心理互助会を設立し たいと 考 えています。 がいこくじん みな こころ けんこう い じ がいこくじんしんりごじょかい せつりつ 外国人の皆さんが心の健康を維持できるよう、外国人心理互助会を設立したいと おも ています。がいこくじんしんりごじょかい だれ じぶん かんじょう けいけん きょうゆう たが 外国人心理互助会では、誰もが自分の感情や経験を共有し、互 いに させあ うことができます。 |
| り ゆう 理由 | 20～30%の ひと がメンタルヘルスの 問題 を抱えています。がいこくじん げんご かべ しゃかい 外国人は言語の壁や社会 とうごう かだい 統合の課題により、メンタルヘルスの 問題 を抱えやすい けいこう 傾向があります。わたし は、がいこくじんしんりごじょかい つう がいこくじん じゅうみん しえん かんが 外国人心理互助会を通じて、外国人と住民を支援したいと 考 えています。 |
| びこう 備考 | 1. もくてき 目的とタスク： がいこくじんしんりごじょかい せつりつ つう がいこくじん しんり ていきよう 外国人心理互助会の設立を通じて、外国人に心理サポートを提供します。 このサポートグループは非臨床的なものです。 さんかしや しんこく もんだい いりようかいにゆう ひつよう はんめい ばあい しんり 参加者に深刻な問題があり、医療介入が必要なことが判明した場合は、心理カウ ンセリングや医療機関の 情報 を提供 します。 2. ニーズぶんせき ニーズ分析： わたし ゆうじん なか あつか けいけん ひと なんにん いま 私の友人の中には、メンタルヘルスの悪化を経験した人が何人かおり、今もなお 苦しんでいる ひと もいます。 3. もくひよう 目標： ねんかん にん こうじよう しえん 2年間で10人のメンタルヘルス向上を支援する。 さんかしや げつ しんりしつもんひよう もち じ こひようか おこな きん かきかんちゆう かいぜん 参加者は3ヶ月ごとに心理質問票を用いて自己評価を行う。参加期間中の改善 が十分であるとみなす。 しゅうごうばしよ りべんせい たか よこはまし かわさきし 集合場所は、利便性の高い横浜市または川崎市とする。 4. たいしやうしや 対象者： かながわけんざいじゅうしや おも がいこくじん 神奈川県在住者（主に外国人） 5. ていきやうないよう 提供内容： がいこくじんむ ていきてき しんり かつどう 外国人向けの定期的な心理サポート活動 6. しじやうぶんせき 市場分析： げんざい がいこくじんむ しんり だんたい そんざい にほん しんりがつかい こうにん 現在、外国人向けの心理サポート団体は存在しない。日本には心理学会や公認 しんり しきやうかい すで だんたい そんざい だんたい ほんていあん もくてき がつつ 心理師協会など、既に団体は存在するが、これらの団体は本提案の目的に合致し ない。 |

7. 組織体制：
責任者：2名

8. マーケティング計画：

チラシを印刷する。ソーシャルメディアとウェブサイトで情報を発信する。
横浜国際文化交流ラウンジと区役所でチラシを配布する。

9. 運営計画：

当初は日本語と英語の両方で活動を行います。プロモーション期間の2ヶ月後から、プログラムは隔週で運営を開始し、需要に応じて調整します。
集合場所が必要な場合は、市民センターの会議室までご連絡ください。
このグループは相互支援グループであるため、専門家の指導なしでも実施できます。活動が進むにつれて、専門家の指導を求めることも検討します。

10. 財務計画：

会員は少額の会費を支払い、主に会場レンタルとプロモーション費用のための一定の補助金が支給されます。

11. リスク管理：

感情的または攻撃的な行動があった場合、事務局長が介入します。緊急対応：例えば、参加者が緊急事態に遭遇した場合は、119番に電話して救急医療サービスを受けます。
参加者数が多すぎる、または少なすぎる場合は、グループを複数のグループに分けます。

12. タイムライン：

提案が承認された後、準備を開始し、その後2ヶ月間のプロモーション活動を行います。その後、運営を開始し、少なくとも3年間継続します。

13. 評価と影響分析：

参加者数、満足度アンケート、心理尺度を用いて分析を行います。

14. 結論と提言：

21世紀以降、外国人を含む多くの方々の方々の心理的問題が深刻化しています。特に外国人は、言語や文化の違いにより、孤立感や無力感を抱きやすくなっています。私たちは、心理的相互扶助グループを通じて、こうした方々を支援していきたいと考えています。